

仙台はじまりの地

青葉山エリアの 未来の地図



歴史、文化、自然等の資源が
集積する青葉山エリア。このエ
リアの魅力を磨き上げる、さま
ざまな取り組みを紹介します。

先月に引き続き、音楽ホールと中心
部震災メモリアル拠点の複合施設整備
について紹介します。今回は、中心部
震災メモリアル拠点を取り上げます。

仙台ならではの災害文化の創造

市では、震災の記憶と経験を未来へ
つなぐため、平成25年に仙台市震災復
興メモリアル等検討委員会を設置。平
成26年に同委員会より市中心部と沿岸
部の2カ所に震災メモリアル拠点を整
備する方向性が示されました。平成28
年に、震災を知り学ぶ場であり、人と
人の新たなつながりを生み出す役割も
担う沿岸部の拠点「せんだい3・11メ



▲せんだい3・11メモリアル交流館で
行われた「災害文化ってなに？」と題
した公開パネルディスカッション

メモリアル交流
館」がオープン。
平成29年には津
波の脅威・教訓
を伝える「震災
遺構仙台市立荒
浜小学校」の公
開を開始しまし
た。
さらに、平成

31年には中心部震災メモリアル拠点検
討委員会を立ち上げ、令和2年に「災
害とともに生きる文化（災害文化）」の
創造」を基本理念に掲げる提言をまと
めました。災害文化とは、過去の災害
に関する言い伝えや防災技術、復旧・
復興の取り組み、災害に対する考え方
や日常の習慣など、災害とともに生き
て災害を乗り越えるための全ての知恵や
術、行動をいいます。自然は災害をも
たらす一方で、私たちに恵みも与えて
くれる、その二面性を理解し上手に折
り合いをつけていくことも災害文化で
す。中心部震災メモリアル拠点は、市
民が、それぞれの地域や暮らしに合っ
た災害文化を備え、それを時代や社会
の変化に合わせて更新しながら、一人
一人の行動につなげるための拠点とな
ることを目指しています。

市民とともに育む拠点に

現在、「国際センター」駅北地区複合
施設基本構想に関する懇話会」で、中
心部震災メモリアル拠点についても検
討が進められています。災害文化の創

造拠点として位置付け、災害の記録の
蓄積や展示を行う「認知」、市民や企
業、研究機関、行政などが交流し、対
話する場をつくる「創造」、災害文化
を日常生活に生かす仕組みをつくる
「実装」、災害文化を鍵として世界各
地をつなぎ広める「発信」の、4つの
事業方針を示しました。多様な主体と
連携しながらこれらの事業を進め、
「災害に備え、乗り越える人」を育て
ていきます。
今後も、理念や施設の具体像などに
ついて、市民の皆さんの意見も踏まえ
ながら議論を重ね、令和5年度中に基
本構想を策定し、基本計画の検討に着
手します。多くの方に活用され、未
来に向けた新しい形のメモリアル拠点と
なるよう、整備を進めていきます。

災害文化豆知識

豪華絢爛な仙台七夕が災害と
深い関わりがあることをご存じ
ですか？ 関東大震災後の大不
況を乗り越えようと、商店街で
発案されたのが「七夕飾りつけ
コンクール」。これを機に互い
に競い合うようになり、七夕飾
りは年々豪華になっていきまし
た。災害から立ち直った痕跡も
災害文化であり、暮らしの身近な
ところに残っています。



▲1月に実施された「せ
んだい・立直りのコンセ
キ巡り」。専門家の案内
で災害の痕跡を巡りまし
た

おうち時間に親子でクッキング！

せんだいレシピ帖

春キャベツとあさりのスープ煮



春キャベツは3月～5月
頃に旬を迎えます。冬キャ
ベツより水分が多くて柔ら
かく、芯までおいしく食べ
られるのが特徴です。

材料（4人分）

- 春キャベツ …小1/2玉
- しめじ …1/2株
- 殻付きあさり（砂抜きしたもの） …200グラム
- ミニトマト …8個
- ニンニク …1かけ
- オリーブオイル …大さじ1
- 水 …200ml
- 顆粒コンソメ …小さじ1
- 塩・こしょう …少々

作り方

- 1 キャベツは食べやすい大きさにちぎる。しめじは石づきを取って、小房に分ける。
- 2 あさは水の中でこすり合わせて洗う。ミニトマトはヘタを取る。
- 3 ニンニクは皮をむき、根を落として半分に切り、芯を取る。
- 4 フライパンに3とオリーブオイルを入れ、中火にかける。
- 5 ニンニクの香りがしたら1を入れ、軽く焼き目を付ける。
- 6 水と2、顆粒コンソメを入れ、ふたをして煮る。あさが開いたら、塩・こしょうで味を調える。



キャベツをちぎる、しめじを小房に分ける、あさを洗う、トマトのヘタを取る作業ができます

※健康政策課Facebook「仙台伊達なキッチン—だてきち」では他にもレシピを紹介しています 問健康政策課 ☎214・3894